

流動性モンテカルロVaR概説書

平成25年12月4日
株式会社 メッセージ

流動性VaRの概略

- ▶ 流動性VaRとは
 - ▶ 対象金融商品の市場流動性を考慮して、商品ごとの保有期間を流動性に応じて変えた場合のVaR(ある信頼区間での最大損失額)のこと
- ▶ 保有期間(流動性ホライズン)の区分
 - ▶ バーゼル銀行監督委員会の「トレーディング勘定の資本賦課に係る抜本的見直し」(2013)の第2次市中協議文書の『流動性ホライズン』の適用に対応
 - ▶ 対象金融商品の市場流動性を考慮して、5区分の流動性ホライズンが設定が可能
 - ▶ 国債等の市場流動性の高い商品は、10営業日
 - ▶ 仕組債、証券化商品等は、流動性に応じて、設定可能
- ▶ シナリオ生成
 - ▶ 保有期間区分ごとに、各グリッド間の相関を考慮してシナリオを乱数生成
- ▶ リニア法では計測不可能、ヒストリカル法では、実質、計測不可能
- ▶ 5つのポートフォリオ区分を同時計測

対応金融商品

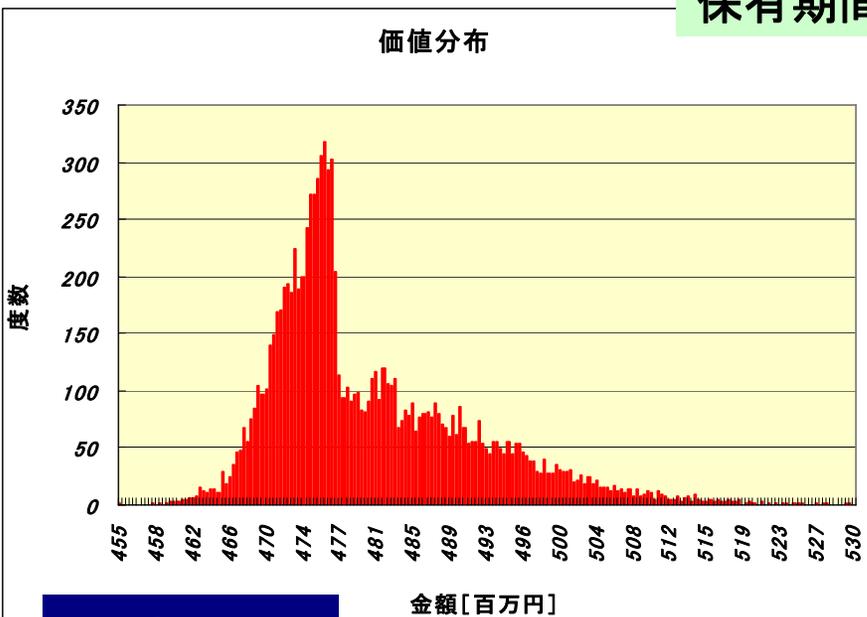
- ▶ 債券(固定／変動)、外国債券(固定／変動)
- ▶ 仕組債(デュアル債)、MBS、物価連動国債
- ▶ 貸付(期限一括／元金均等／元利均等、固定／変動)
- ▶ 住宅ローン(固定／変動)、消費者ローン
- ▶ 預金、外貨現金
- ▶ 株式
- ▶ 金利スワップ、債券先物、為替予約、通貨スワップ
- ▶ 債券店頭オプション、債券先物オプション
- ▶ 金利先物オプション、金利スワップオプション
- ▶ 株価指数オプション、個別株オプション
- ▶ 通貨オプション

- ▶ 計算パラメータ
 - ▶ シナリオ回数、信頼区間、保有期間営業日数(5区分)など
- ▶ 金融商品属性
 - ▶ 商品種別、残高、金利、残存期間、固定／変動、保有期間区分
- ▶ 市場データ
 - ▶ 通貨コード、為替レート、金利
- ▶ 金利、為替、株式相関、ボラティリティー

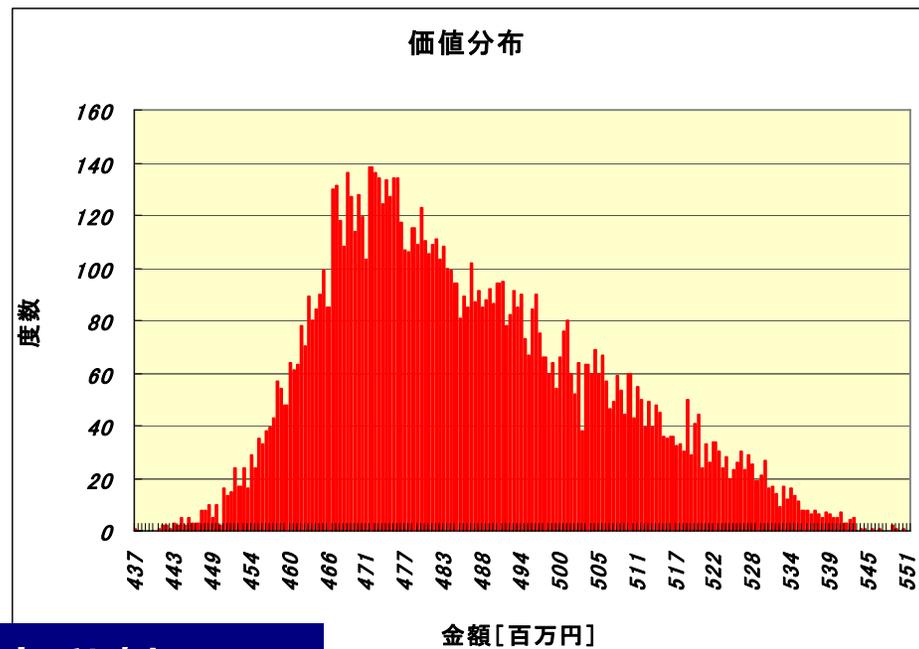
出力項目

- ▶ 平均値、標準偏差、流動性VaR、流動性CVaR(3信頼区分)
- ▶ 商品明細別のリスク寄与度
- ▶ 5つのポートフォリオ別に出力

元本1億円、残存期間10年の5つの債券を、
保有期間を10日、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年として計測



通常VaR



流動性VaR